

# 環境に配慮した事業運営に努めています



水道局では、環境保全のための目標をたて、省エネルギー、廃棄物減量化、資源の有効活用などの環境負荷低減策を実施しています。

## リサイクル(再利用)の取組み

### 【建設副産物の再利用】

水道管布設等の工事で発生した発生土やコンクリート・アスファルト塊などをリサイクルし、一部を工事の埋戻しなどに再利用しています。



## 環境負荷低減への取組み

### ①【浄水場の統廃合及び給水エリアの再編】

市町村合併により引き継いだ浄水場の統廃合と給水エリアの再編により効率的運用を図るとともに、存続する基幹浄水場による効率的な施設運用で電力消費量の削減を進めています。

### ②【高効率化による省エネルギー】

新潟平野の海岸部に位置する新潟市は、自然流下のような位置エネルギーを有効にせず、電力によるポンプ圧送の割合が高くなっています。そこで、可能なかぎりの省エネルギーを推進するため、高効率なポンプ、変圧器、照明などを採用し、電力消費の低減を図っています。

### ③【自然エネルギーの活用】

太陽光発電を信濃川浄水場(100kW)と水質管理センター(19.8kW)で実施しています。また、庁舎の壁面や屋上の緑化を行い、環境に配慮した事業を進め、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の削減に努めています。現在、水道局本局構内においても、太陽光発電設備設置に向けた準備を進めています。



水質管理センター 太陽光発電設備



本庁舎屋上緑化

### ④【浅層埋設工事への変更】

水道管布設工事において従来の深さよりも浅く埋める方法を探り、掘削の際に生じる土の量を減らすことで、工事に係る建設機械等の使用燃料の削減を図っています。

### ⑤【太陽エネルギーを利用した浄水発生土の乾燥】

浄水処理過程で発生する浄水発生土の乾燥を機械脱水方式から天日乾燥方式に切り替えを進めています。



## 環境負荷低減効果として

平成24年度については、これらを含め水道局全体で、**二酸化炭素の排出削減量を約910t削減しました**(一般家庭約121世帯の年間排出量に相当)。

このような環境に配慮した取組みを「環境会計(平成24年度決算版)」として公表しています。詳細は、ホームページや市政情報室でご覧いただけます。



●お問い合わせは ☎ 0120-411-002 水道局経営管理課へ